

施策No.	6111	施策名	議会活動支援の充実	施策主管課長	議会事務局議事課長 高橋 幸男
-------	------	-----	-----------	--------	--------------------

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的 「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか		対象指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度
	市議会及び議員	①	市議会議員数			人	26	26	26
施策の目的 「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか		成果指標(意図の達成度を表す指標)	項目	単位	26年度	27年度	28年度	29年度
	議決機関としての権能が十分に発揮できるよう支援する。	①	議員提案件数	目標値	件	2	2	2	2
				実績値		2	2		
	②	決議・意見書提案件数	目標値	件	3	3	2	2	
			実績値		2	0			
	③	議会ホームページアクセス件数	目標値	件	13,000	14,000	17,000	17,400	
実績値			13,210		16,659				
成果指標設定の考え方	議員提案や決議・意見書が増加することは、議員が積極的に議会活動をしていることの証であり、議会の活性化に繋がる指標と考える。また、議会ホームページアクセス件数は、市民がどれだけ議会に関心を持っているかを測る指標として採用した。			成果指標の取得方法	① 議事課資料(定例会・臨時会における議員提案件数) ② 議事課資料(定例会・臨時会における決議・意見書提案件数) ③ 議事課統計データ				

2. 施策の目標達成度評価

平成27年度施策の取組方針	施策の取組方針・成果指標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> 正副議長及び議員が、議決機関としての権能を十分に発揮できるよう支援する。 各定例会及び臨時会で提案される案件が、問題なく議決されるよう、執行部と連絡・調整を行う。 議会と執行部が、情報を共有できるよう支援する。 新庁舎への移転を機に、市民に信頼され、開かれた議会(見える議会)を具現化する。 	取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成
	成果指標	<p>1 施策方針は、すべて達成した。</p> <p>(1) 議会運営については、代表者会議、議会運営委員会及び本会議等をおおむね円滑に進めることができ、提案された全議案が問題なく議決された。</p> <p>(2) 正副議長に対する定例会の案件説明、議員全員協議会案件の事前説明、政策会議の結果報告等とおして、執行部との連絡・調整を行い、情報を共有することができた。</p> <p>(3) 議長等が出席する会議や式典等は、事前に日程調整を行い支援することができた。</p> <p>(4) 12月定例会より本会議を、さらに2月定例会より常任委員会及び予算審査特別委員会をインターネットで生中継及び録画による映像配信を行った。</p> <p>(5) 政務活動費の収支内容を佐野市議会ホームページで公表した。</p> <p>(6) 佐野市議会ホームページに会議録検索システムを掲載し、すべての人が検索することができるようにした。</p> <p>2 成果指標は、一部未達成だった。</p> <p>(1) 議員提案件数は、目標値どおりだった。</p> <p>(2) 決議・意見書は、陳情や請願の件数、国の法改正の動向、社会情勢等に左右される部分が多く、結果として決議・意見書提案件数は目標値を下回った。</p> <p>(3) 佐野市議会ホームページアクセス件数は、議会活動に対する関心と会議録検索システムの導入並びに本会議、各常任委員会及び予算審査特別委員会のインターネットによる映像配信と相まって、目標値を上回った。</p>

3. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担	
	<ul style="list-style-type: none"> 地方分権が本格化する中で、地方議会改革も機能強化に関する数次の地方自治法改正を経て、各地方議会で自主的な取組が散見される。 近年は、市民に開かれた議会(見える議会)を目指した議会情報の公開、議会報告会の開催、議会基本条例制定の動きが広がりを見せている。 	市民、地域・事業所	行政
			市議会及び議員に対する支援を、次のようにまとめた。 <ol style="list-style-type: none"> 議会運営に対する支援 議会の監視機能、政策形成能力の向上に対する支援 議員や会派の議会活動に対する支援 議会と執行部間の連絡調整 議会情報の公開 市議会及び議員からの要請に的確に対応できるよう、これらの充実・強化を図る。

4. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	平成29年度施策の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 施策全体としては、すべての事務事業を着実に実行したため、例年どおりの成果を上げることができた。 一般質問における一問一答方式の導入、本会議、常任委員会及び予算審査特別委員会のインターネットによる映像配信などを行い、取組方針及び成果指標において成果が見られた。 議員人件費は、平成27年度決算額が267,384千円となり、主に議員共済給付負担金率の増加により前年度と比較して15,087千円の増となった。 会議録作成及び市議会情報システム運営事業は、平成27年度決算額が5,321千円となり、全議員への会議録の配付を取りやめ、全議員へのタブレット端末貸与によるペーパーレス化を行い、前年度と比較して712千円の減となった。 議会の会議をインターネットで映像配信するため、議会映像インターネット配信事業(平成27年度決算額791千円 皆増)を開始した。 	<p>〈平成28年度で解決する課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に予定されている市議会議員選挙に向け、議員定数及び議員報酬について、従来どおりでよいか、見直すべきか、議員が定数及び議員報酬額の結論を出すための支援 サイドブックス本棚(タブレット端末から共有する文書を閲覧することができるクラウドサービスを用いる。)を活用した議会資料の共有化及び議員への市政情報の提供 <p>〈平成29年度以降にも引き継がれる課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 議決機関としての機能発揮のための支援 執行部との連絡調整及び情報の共有化 <p>〈平成29年度の重点課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 開かれた議会(見える議会)となるための支援 	<ul style="list-style-type: none"> 正副議長及び議員が、議決機関としての権能を十分に発揮することができるよう支援する。 各定例会及び臨時会で提案される案件が、問題なく議決されるよう、執行部と連絡・調整を行い、情報を共有する。 議会と執行部が、情報を共有することができるよう支援する。 市民に信頼され、開かれた議会(見える議会)となるために、議会活性化検討委員会及び議会報告会運営委員会を支援し、並びに議会情報の公開及び提供が推進するよう支援する。